

実施団体名 特定非営利活動法人 SEEDS Asia

事業名・国 移動式防災教室を用いた防災教育事業(第2年次) (ミャンマー連邦共和国)

■実施体制の整備等



事務所では会議資料の作成やトレーニングの調整業務等の事務作業を行う



月に一度、スタッフ全員で、防災への理解を高めるための勉強会を開催し、トレーニングの質の向上を図っている



火災の新規教材（ポスター、カードゲーム）の作成ではデザインについてイラストレーターと何度も協議を重ねた



防災トレーニング後に行った質問表の結果を次のトレーニングに活かすために現地スタッフと協議を重ねた



第1フェーズで作成したポスター同様、新規作成の火災ポスターにも現地人気漫画のキャラクターを採用した



当該国で復興支援や防災活動に従事する団体が集う DRR Working Group の総会にて、移動式防災教室を紹介した

■東日本大震災シンポジウムの様子

6月7日、8日（首都ネビドー）及び9日（ヤンゴン）において実施した東日本大震災シンポジウムの様子。



ウー・フォン・スエ社会福祉省副大臣を始め、多数のミャンマー政府関係者の参加を得た
【写真は同省副大臣の挨拶の様子 ネビドー】



在ミャンマー日本国大使館より、ネビドーでは齊藤大使のご出席、ヤンゴンでは中矢二等書記官のご出席を賜った
【写真は齊藤大使の挨拶の様子 ネビドー】



防災研修で使用する防災模型には、多くの政府関係者の関心を集めた。写真は、防災模型についてウー・フォン・スエ社会福祉省副大臣と齊藤大使に説明する弊団体の鹿田
【ネビドー】



災害時における防災教育の効果や推進策について教育省職員や社会福祉省職員から講演者への質問が相次いだ
【ネビドー】



東日本大震災時における人々の避難行動の事例を真剣に聴く参加者
【ヤンゴン】



防災教育をテーマにしたパネルディスカッションでは、講演者と参加者の間で活発な意見交換が行われた
【ヤンゴン】

■移動防災教室でのトレーニングの様子

第1回移動式防災教室（エヤワディ地域パテイン校：7月1日～4日）及び、第2回移動式防災教室（ヤンゴン地域ヤンキン校：7月16日～19日）でのトレーニングの様子。



災害発生時の危険区域と避難場所・経路・方法を示した避難マップが作成され、参加者の間で共有された【パテイン校】



消火器の使い方について、弊団体スタッフから説明を受ける教員【パテイン校】



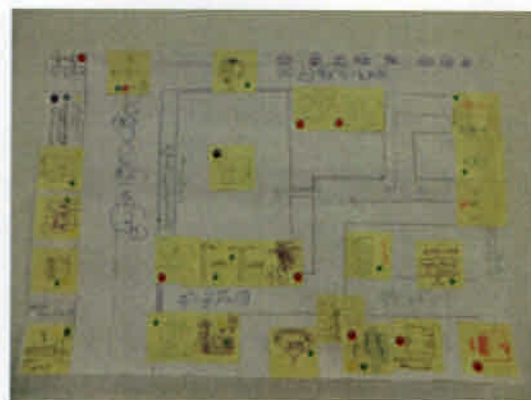
カードゲームを用いて、防火対策や火災時の対処方法について学ぶ生徒【パテイン校】



耐風強化建築技術を用いた住宅の模型について説明を受ける教員と生徒【ヤンキン校】



バケツリレーの実技トレーニングにより初期消火方法を学ぶ生徒【ヤンキン校】



参加者が作成した災害発生時の危険区域と避難場所・経路・方法を示した避難マップ【ヤンキン校】

以上